

磐梯山登山道の利用状況

【目的】 磐梯山における登山道の状況を自然保護と整備箇所、及び危険箇所の観点から観測する

【結果】

自然保護

- (1) 黄金清水付近の踏み込み箇所
- (2) お花畑付近の踏み込み箇所
- (3) 弘法清水小屋横のトイレ

整備箇所

- (1) 渋谷登山口の看板倒れ
- (2) 翁島登山口の看板倒れ
- (3) 川上登山口(上)看板倒れ
- (4) 川上登山口(下)看板倒れ

危険箇所

- (1) 翁島登山口・大岩転落防止対策
- (2) 川上口への途中の岩くずれ
- (3) 磐梯山火口周辺、強風時の転落注意
- (4) 川口・裏磐梯コースでの土石流の沢
- (5) 弘法清水横広場 風雨による荒地の拡大
- (6) 川上コース火口の登山道の見落とし
- (7) 猪苗代お馬返し（スキー場上）の登山道の見落とし

【考察】

磐梯山には毎年3万人以上の多くの登山者が訪れる。

このため、登山者の安全、植生の保護、地形の変化などの観点から継続的なモニタリングが必要であると思われる。

1. 登山者の安全を確保観点からの標識を含む登山道の状態
2. 踏み込みなどによる植物の状態と立ち入り禁止柵や標識の見直しの観点からのモニタリング
3. 火口壁及び火口の地形の変化と植生の変化の推移

【概要】

- (1) 期日 平成22年5月16日
平成22年6月1日
平成22年7月10日
平成22年7月28日
平成22年8月20日
平成22年8月24日
平成22年10月19日

- (2) 調査者 江花俊和（猪苗代山岳会 会長）